



「生きる力」を育む 成長支援サービス

エデュ・パス



GOOD DESIGN AWARD
2022年度受賞



2024年度

実施効果報告レポート

【事業者名】

Edv Future株式会社

【サービス名】

①生きる力を育む成長型支援サービス | Edv Path

[オプション：運営コンサルティング]

【支援項目】

①授業準備、成績処理、生徒指導（個別）

2025年1月



教育効果の見える化で、エビデンスに基づいた探究学習を

「**非認知能力(ポテンシャルティ)**」に着目し、生徒一人ひとりの非認知能力を可視化・数値化したのち、データとして蓄積。生徒の成長支援を行い、学習意欲を向上させるための最適なカリキュラムとコーチングを提案することで生徒個々の特性や進度に応じた、包摂的かつ公平で質の高い学びを支援します。



ポイント1: 非認知能力育成プログラム

能力を育成する教育プログラム

クラス授業で利用する教材と
個々のコーチングプラン

指導案/プリント/スライド/回答例を提供。
教師の準備時間を大幅削減。

生徒の能力を効率的に育成するための最適な教材を実施。
探究学習の土台作りを実施することで生徒の個性を活かすための環境づくりが可能に。



ポイント2: 生きる力の可視化

見えない学力の測定

生徒のアンケート回答をもとに、
9つの項目で分析



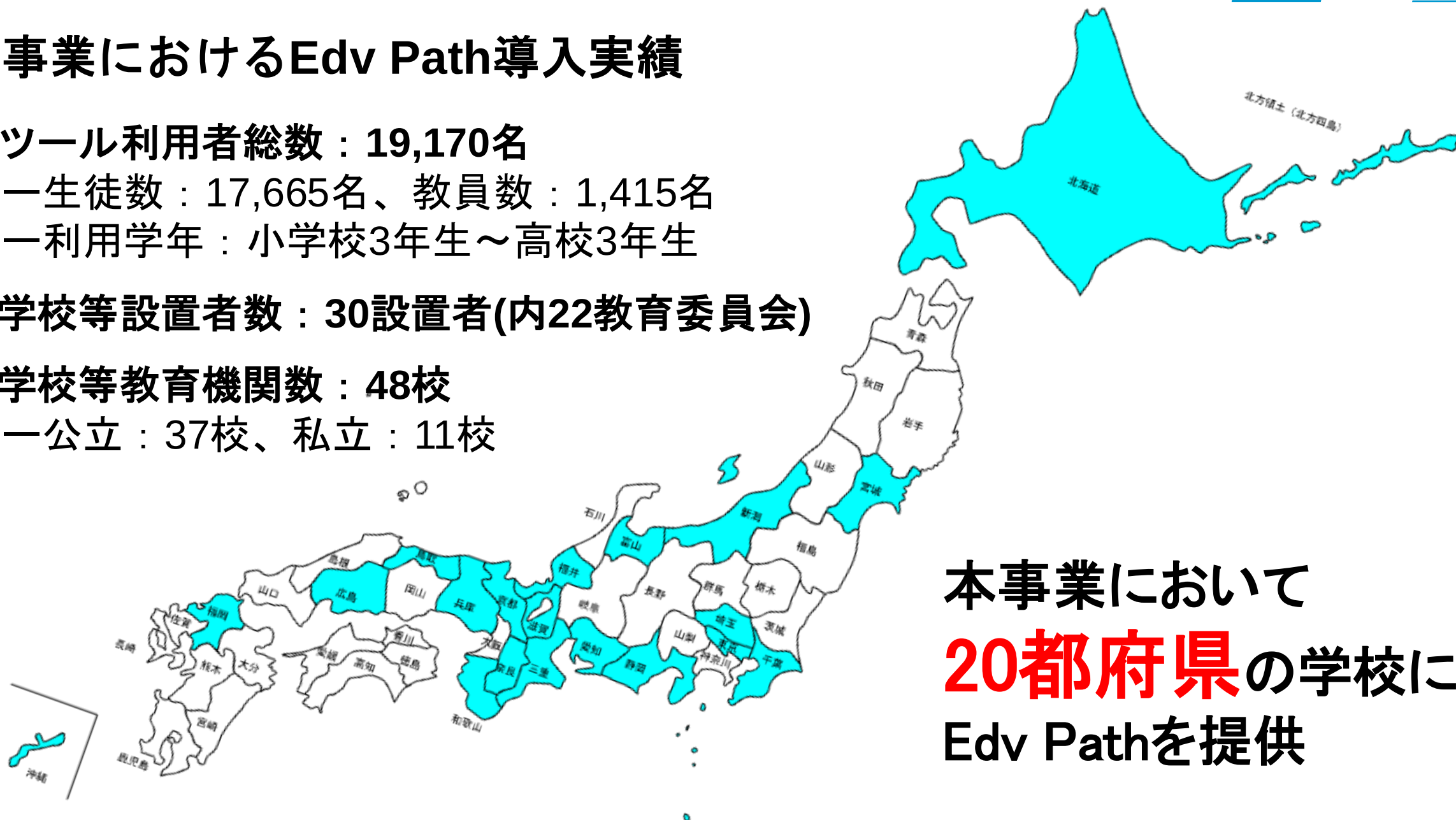
回答時間：10分程度
設問数：実施する測定項目によって異なります。

測定結果は即時反映。
Edv Pathのアカウント上や個別レポートとして結果を確認。
生徒自身の特性や個性を一目で把握し、探究を通じた効果をEdv Pathが分析！



■ 本事業におけるEdv Path導入実績

- ツール利用者総数：19,170名
一生徒数：17,665名、教員数：1,415名
一利用学年：小学校3年生～高校3年生
- 学校等設置者数：30設置者(内22教育委員会)
- 学校等教育機関数：48校
一公立：37校、私立：11校



本事業において
20都府県の学校に
Edv Pathを提供

■ 本事業におけるEdv Path活用事例

スクールポリシーや
設定した資質能力に
合わせて再分析をサ
ポート担当が実施



振り返りと分析

プログラムによってどのような
変容が起きているか分析
課題となっている項目を発見し
次回アクションに繋げる

生徒の変化を把握

アセスメントを受検し、生徒の
非認知能力の変化を可視化する

再びアセスメントを実施することで...

- ☆生徒が成長を実感&困りや躓きを把握
- +
- ☆教員の教育効果の実感

シラバスの策定支援

35種の授業コンテンツから学校の
カリキュラムポリシーや年間の実
施回数に応じてシラバスを策定

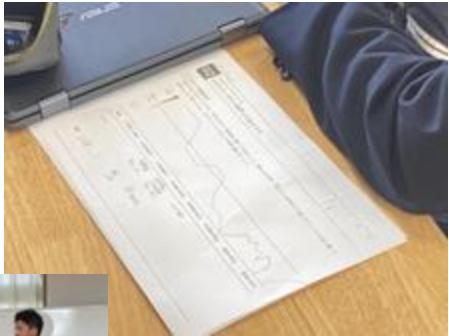
生徒の現状を把握

所要時間5分~のアセスメントを
受検し、生徒の非認知能力の現
在地点を可視化する

プログラムを実施

策定したシラバスに沿って、探究
の授業を実施
授業資料はEdv Pathから取得！

番号	コンテンツ名	概要	補助資料/プリント
41	オリエンテーション (Assessment)	Edv Pathの活用に関するオリエンテーションを行った後、生徒個人が自分自身の非認知能力をどのように理解しているのかをプリントに書き出す。その後、非認知能力を測定するアンケートを実施する。	
42	アセスメント結果の振り返り(通常版)	アンケート調査の結果を基に、生徒個人が自身のEdv Pathの個人情報を確認する。また、両タイムラインを参考にこれから意識すべきことや行動指針について自分なりに考える。	Edv Path コンビデンシャルレポート
43	アセスメント結果の振り返り(ヒストリーライン版)	アンケート調査の結果を基に、生徒個人が自身のEdv Pathの個人情報を確認する。また、ヒストリーラインを参考にこれまで意識してきたことや行動指針について自分なりに考える。	Edv Path コンビデンシャルレポート
44	アセスメント結果振り返り(目標設定)	目標設定のためのアセスメント調査を行う。アセスメント結果を基に、非認知能力の現状の把握を分析する。また、自分自身の能力の成長を軸にしながら振り返りを実施し、今後の行動指針や意識することを決定する。	Edv Path コンビデンシャルレポート
45	ヒストリーラインを持ってみよう	自分自身の人生の軌跡や達成したことについて考える。ヒストリーラインのフレームワークを活用することで、生徒個人がこれまでの人生を振り返り、自己形成のタイムラインや今後の行動指針を明確にすることを支援する。	

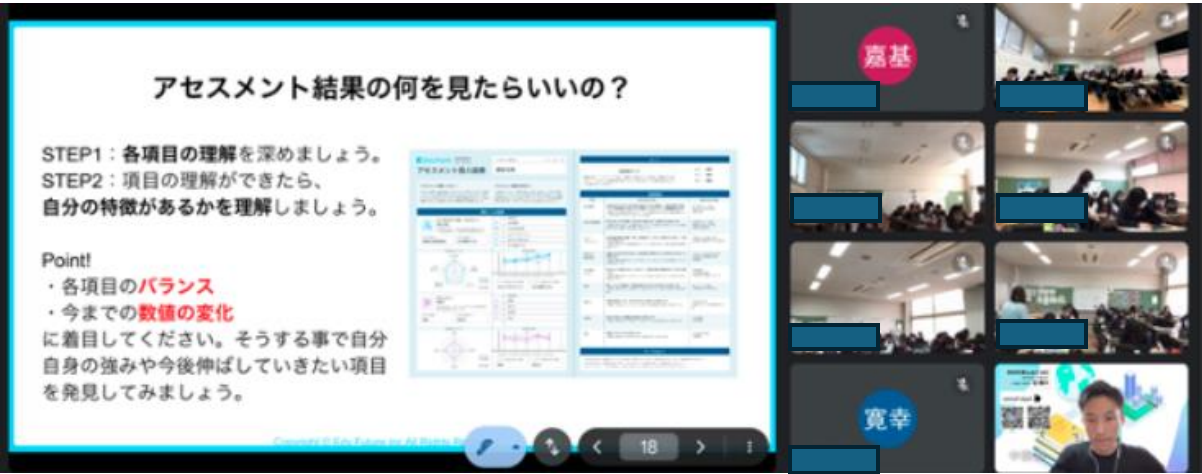


■ 本事業におけるEdv Path活用効果

○生徒向けEdv Path説明会

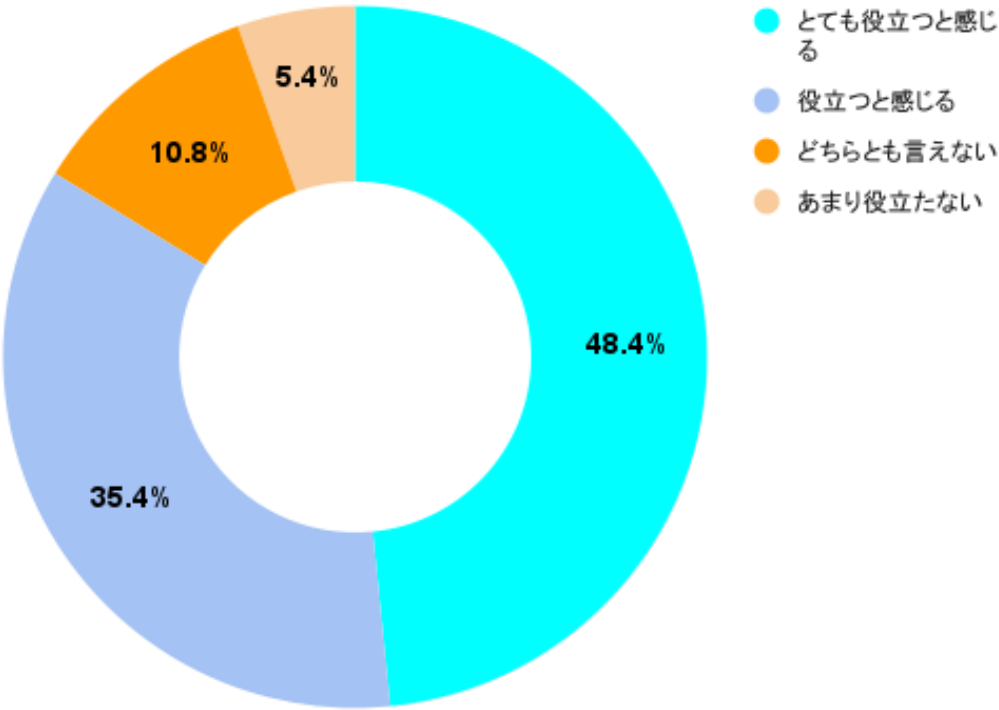
▼説明会の概要

夏休み明け（2学期始まり）などを中心に、生徒がEdv Pathのアセスメント結果を見ることを通じて学校生活における **自分自身の取り組みや活動の振り返りの時間**にする目的で実施。



▼生徒の反応

本事業を通じて説明会を受けた8割以上（83.8%）の生徒が「**Edv Pathを受検することで、自分自身の理解に役立つ**」と回答。



■ 本事業におけるEdv Path活用効果

○ 教職員向けEdv Path研修会

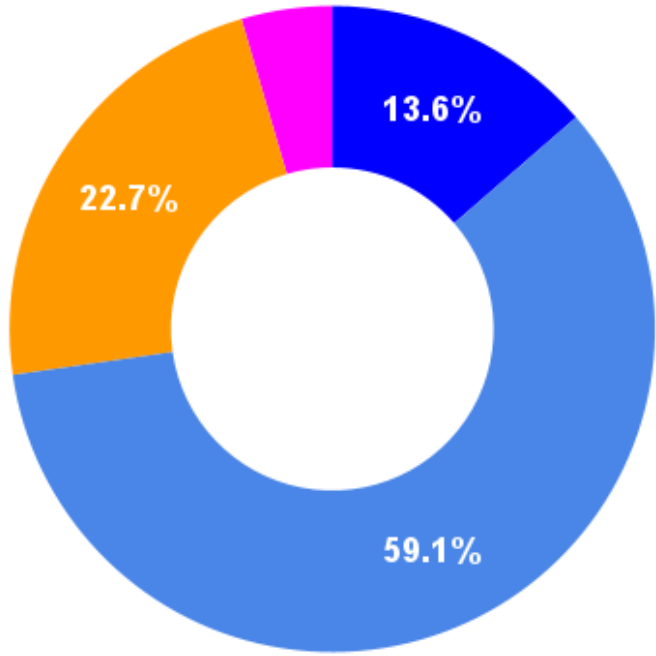
▼ 研修の概要

Edv Path受検後のデータの利活用にあたっての研修を行い、**受検後の支援や活用イメージを醸成**している。内容としては。

①どのようなデータが取得されているのか、②アセスメントデータのケーススタディ研修、③**取得後のデータを用いた生徒支援・探究活動への応用などについてのレクチャー**を行う。



- イメージできた
- ある程度イメージできた
- どちらでもない
- あまりイメージできなかった



▼ 教職員の反応

本事業を通じて研修会を受講した教員のうち、過半数以上（72.7%）が「**研修会を通じてEdv Pathの活用イメージを得ることができた**」と回答。

■ Edv Path導入及び運用における課題

◇ 課題

〈導入面〉

- ・ 現状ウェブサイトのみでの運営になっており、インターネット環境下でなければ動作/運用ができない。
- ・ 非認知能力について知らず、用語が難しいと感じてしまう教員がいる

〈運用面〉

- ・ WEBアプリのため、ログイン画面への動線への慣れが必要となっている
- ・ 学校内でアセスメント実施から測定後のアプローチまで独自で実施が十分ではない
- ・ ログイン情報を紛失してしまう生徒が一定数発生している

◇ 解決に向けて

1. Edv Path全体のUI/UX改善を行い、これまで以上に使いやすいデザインへ改善させる。
2. 初期サポート時に、ログインURLのショートカット作成を案内する（ログイン動線の改善）
3. 導入前の研修・説明会にて「非認知能力」についての説明を今以上に充実させる。
4. 教員研修会の内容を新規開発し、高度な研修の実現を図る。

■ Edv Path利用前後の児童/生徒/教職員のコメント

◇ 教職員からのコメント（一部掲載）

1学年は支援が必要な生徒が多くいます。特に若い先生、経験の浅い先生も多いので、生徒にも保護者にも自信をもって声掛けできるツールになると感じました。まずは、この分析が生徒指導のみならず、キャリア教育など総合、特活などにも役立てていきたいと感じました。（公立中学校 学年主任）

アセスメント結果の分析については、校内レベルでの研修が難しいものです。本校のサポート担当によるオンライン研修で教員の理解が得られ、サービス手厚いフォローが大変助かっています。旧来利用していたツールより負担を減らしながら、必要な情報を得ることができ教員の働き方改革にもつながる取組と感じております。（公立中学校 教務部長・校務DX主任）

Edv Pathがあることで、外部からの観察では分からない生徒の状況を把握することができるようになり、指導を行う上での強い味方になっています。一番は、サポートが手厚く安心して進めていけると感じています。（公立高等学校 総務部長）



■ Edv Path利用前後の児童/生徒/教職員のコメント

◇ 生徒からのコメント（一部掲載）

- ・ 初めてこのような診断をやってみて自分の弱点など自分についてたくさんを知れ、今後どのようなことをすればいいかなどたくさんのがわかったのでとても有意義な時間になった。今後も定期的にやって自分の変化を知りたい。
- ・ 自分にはなにが強みで何が伸ばすべきポイントとなるのかを具体的な数値で表しているのがわかりやすかった。その結果を踏まえてワークではどのようなことが学べるのか知りたくなった。
- ・ 自分と向き合う時間はめったにないので自分が思う自分と、他者から見る自分のギャップを知ることができてとても良い時間になりました。
- ・ このアンケートを今度また答えてどこが伸びたか確認したい

Edu Future 会社概要

OUR MISSION

未来ある子供たちの情報格差をなくして、
自ら意思決定できる人を増やす

会社名	Edv Future株式会社（エデュフューチャー）	事業内容	・ 生きる力を育む成長支援サービス 「Edv Path」の運営 ・ 中高校生むけWebメディア 「Edv Magazine」の運営
取締役	代表取締役 山崎 泰正 取締役 橋本 竜平	情報管理	JIS Q 27001:2023 (ISO/IEC 27001:2022) 認証取得 登録番号 [20451087]
設立日	2019年12月2日	受賞・認証等	
資本金	300万円		
メール	support@edufuture.co.jp		
本社所在地	〒160-0022 東京都新宿区新宿2-11-7 第33宮庭ビル 5階	  	
従業員	18名（役員/インターン/業務委託含）		

2024年3月～電話番号が変更予定のため、お問い合わせはメールにてお願いいたします